

イ 省エネルギー設備等

省エネルギー設備等別住宅数をみると、「太陽熱を利用した温水機器等あり」は51,700戸、「太陽光を利用した発電機器あり」は72,700戸、「二重サッシ又は複層ガラスの窓あり」は1,150,500戸となっている。

平成20年と比較すると、「太陽熱を利用した温水機器等あり」は200戸(0.4%)増加、「太陽光を利用した発電機器あり」は50,700戸(230.5%)増加、「二重サッシ又は複層ガラスの窓あり」は330,300戸(40.3%)増加となっており、「太陽光を利用した発電機器あり」の増加率が高く、普及率も0.4%から1.1%と2.8倍の伸びとなっている。全国と比較すると、東京都はいずれの省エネルギー設備等も普及率が低い状況となっている。(表7、図7)

表7 省エネルギー設備等別住宅数

(単位：戸、%)

年次	居住世帯のある住宅総数 A	太陽熱を利用した温水機器等あり		太陽光を利用した発電機器あり		二重サッシ又は複層ガラスの窓あり		
		B	普及率 B/A	C	普及率 C/A	D	普及率 D/A	
東京都	平成15年	5,434,100	54,400	1.0	12,700	0.2	621,100	11.4
	20年	5,939,900	51,500	0.9	22,000	0.4	820,200	13.8
	25年	6,472,600	51,700	0.8	72,700	1.1	1,150,500	17.8
	平成20年～25年							
	増減数	532,700	200	—	50,700	—	330,300	—
	増減率	9.0	0.4	—	230.5	—	40.3	—
全国	平成25年	52,102,200	2,202,000	4.2	1,569,800	3.0	13,153,100	25.2

図7 省エネルギー設備等別普及率

